

公表

事業所における自己評価総括表（保育所等訪問）

○事業所名	社会福祉法人 玄洋会 福津子ども発達センター・さくら館			
○保護者評価実施期間	令和7年1月27日		～	令和7年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2校・園	(回答者数)	2校・園
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		～	令和7年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2校・園	(回答者数)	2校・園
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問時の様子を保護者と共有している。	・必要に応じて、保護者から学校や園での様子等で気になることの聞き取りを行ない、重点的に支援するよう努めている。	・引き続き、関係機関で課題や支援の方向性に関する情報共有を行なう。
2	訪問後は記録を通して、複数の職員が状況の把握を行ない、今後の支援の方向性や必要な支援（環境設定、ツールの活用等）を検討している。	・訪問時に先生から聞き取りを行ない、クラス運営に支障のない範囲で環境設定等の提案等を行なっている。	・幅広い場面（授業、行事練習、休憩時間、給食等）を見学することで、集団場面での本人の困り感の把握に努めている。
3	市の委託事業とも連携を図っているため、定期的に学校や園の先生とお話しする時間がある。	・学校、園の全体の状況把握に努め、訪問の頻度や支援時間の設定を行なっている。	・必要に応じて他機関を巻き込み、包括的な支援が提供できるよう、保護者、相談支援専門員との連携強化を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が少ないため、関係機関の要望に十分応えることができていない。	・人員の確保、訪問支援員育成のための教育体制の確立	・法人内での研修を含め、人材育成に力を入れていく。
2			